

会議録		令和7年12月10日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府山科警察署協議会（令和7年度第3回）		
開催日	令和7年12月5日（金曜日）		
時間	午後3時から午後4時15分までの間（75分）		
場所	京都府山科警察署 署長室		
出席者	山下（恒）会長、井内副会長、三谷副会長、樋口委員、角田委員、園部委員 池田委員、西村委員、柴田委員、有本委員 (欠席 山下（明）委員、山下（直）委員、東委員)		計10人
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴相談係長、鑑識係（3人）		計13人
諮問事項	警察の鑑識活動について		
会議内容	1 会長挨拶 2 署長挨拶 3 協議 (1) 諒問事項説明 警察の鑑識活動について～刑事課長 【委員】交通事故のひき逃げ現場にも鑑識係は出動するのか。 【警察】事案の概要によっては、鑑識係も出動することがある。 【委員】王将の社長殺人事件では、たばこの吸い殻から犯人を特定したそうだが、 どうなのか。 【警察】王将殺人事件については、現在捜査中の事件であり詳細については話せない。 【委員】消防にも鑑識があると思うが、火災現場において、警察と消防ではどちらの鑑識が優先されるのか。 【警察】火災現場においては、共同で原因の究明を行うこととなる。 【委員】海外に行くと、入国の際に手の指紋を採取されるが、日本で指紋のデータベースを増やすためにしていることはあるのか。 【警察】被疑者を検挙すれば、法律に基づき指紋を採取し、保管されることとなる。 【委員】鑑識係には、どのような人がなるのか。		司会 副署長 司会 会長

会 議
内 容

【警察】鑑識係を希望している人がなるケースが多い。

根気のいる仕事であることから、根気強い人が登用されているように思われる。

(2) その他

【委員】警視庁では、国際電話番号からの詐欺電話をブロックするアプリを開発したそうだが、京都府警察では、そのようなアプリの開発はしているのか。

【警察】民間が開発した国際電話拒否アプリの紹介はしているが、京都府警察独自のアプリについては開発に至っていない。

【委員】道路標識の破損、道路標示のかすれなどは、どのように対応しているのか。

【警察】道路標識や表示については非常に重要なものであるが、予算の都合もあるので、必要な場所から優先順位をつけて修復している

また、警察官が破損などを見落としている標識、表示もあると思うので、破損などに気が付けば、遠慮なく交番や山科署の交通課に届け出てほしい。

4 事務連絡

令和7年度第4回京都府山科警察署協議会は、令和8年2月中に実施予定である。

以上

第3回京都府山科警察署協議会の開催状況

